

早くも2月です！クリニックでは先月末よりインフルエンザBが流行しています。受験生がおられ落ち着かない日々をお過ごし親御さんもおられるのではないのでしょうか。寒い日々はまだまだ続きますが皆さんに温かい春が来ることを祈ります。花粉症の季節でもありますね。アレルギーの定期処方予約の必要はありません。大人の花粉症もその場で対応可能です。

院長 池澤 滋

感染症情報 12/22~1/25	前回	今回
アデノウイルス	6	2
溶連菌感染症	4	10
感染性胃腸炎	8	32
伝染性紅斑 (りんご病)	10	6
手足口病	2	2
RSウイルス	11	5
突発性発疹	2	8
おたふく風邪	0	0
ヘルパンギーナ	0	0
水痘	6	10
新型コロナ	1	0
インフルエンザA	470	172
インフルエンザB	1	50



- ★クリニック予約
  - ★クリニックホームページ
  - ★いけざわ beauty(インスタ)
  - ★クリニック Instagram
- こちらから → → →



### 『寒いね・暑いね』



我が家の柴犬サクタロウが先月末に11歳のお誕生日を迎えた。飼い始めた当初、犬と暮らす10年は想像できなかったが、慣れてしまえばなんてことはない。

しかし時々起こる事件には少々頭を抱える。

先日、実はサクタロウが行方不明になってしまった。庭の太陽が射す場所にサクを置いて、1時間外出したらサクがいない！時々、外来受診の子どもが勝手に散歩してくれることがある。「どうかそうでありますように」と願うが、どうも少し荒れた現場は



「チャンスが来て逃げ出した」感があって「サクー！サクー！」無駄だとしても心配で声を出してあたりを歩く。やはり見つからない。

気がついたときは17時。もう保健所の電話もつながらなかった。「お腹空いたら帰ってきますよ」LINEで知り合いに励まされても全く心は落ち着かず、今日はどこで寝ていいのかと夫婦でオロオロ。外でキャンプのようにガスコンロで肉を炊いて誘き寄せる作戦。夫の古いジャマを北風に晒して「犬の嗅覚人間の100倍」を信じてみる作戦。しかしどれもなしのついで。深夜仕方なく布団に入って寝た。「誰かに迷惑をかけていないか」「まさか車に轢かれてないか」「事故に遭っていないか」心配でぐっすり寝ることもできない。夫はまた早朝からいつもの散歩コースを「サクー！」と叫びながら探したが見つからなかった。私は保健所が開く8時30分ピタリに電話をかけた。「あ、あの、白い柴犬が昨日から」と言った途端、電話の向こうで『あー、ハイハイ』と明るい声がした。続けて『もしかして<迷い犬>をネットでみましたか？』『?!』一瞬なんのことか分からない。



「実話」  
「最重要事項」メモを忘れないこと

大晦日の朝の家族会議。年越しの準備は完璧！唯一のミスはメモを持たなかったこと。(笑)それも含めて我が家は通常運転です

4コマまんが  
作・絵  
ちえこ&きみこ

『昨日保護した犬を動物愛護センターのHPに写真で載せているんですよ。』すぐにスマホで検索すると、赤い首輪にブルーのリボンをつけたサクが現れた!! 「あ、これです!!!」菊池の保健所へサクを引き取りに向かう道のり、これまでの脱走を思い出す。サクは前科三犯。迷惑をかけず、事故に合わなかつただけ不幸中の幸いだ。保健所では飼い主としてご指導を受け私は反省した。

動物を飼うと大変、ずっとそう思って躊躇していた犬との暮らし。こんなハプニングを時々起こしながらもどうにか11年家族として暮らしてきた。不安だった外出や長期の外泊時も、近所の知り合いが預かってくれたり、当院のスタッフが散歩してくれたりたくさんの協力のもとになんとかやってこれた。人間でいうと還暦越えのサク、これから先どんな未来が待っているだろうか。

寒い冬の北風も、汗が噴き出す真夏の暑さも、サクがいなければこんなに強く感じることはない。マイナス3度のお散歩から帰宅し「ひやー」と凍えた手をお湯で温める時、自然から生かされていることを学んでいるように感じる。快適からは何も感じない。この「寒いね」「暑いね」がきっと生きている、という原点なのかもしれないと思う。

11歳になったサクタロウ。脱走前科三犯の、手のかかる家族。それでも今日も、この家にサクがいることで、私たちは季節を、そして命を、確かに感じている。

